

## 2. 調査結果の概要と要点

### (1) インタビューの概観

調査対象は、小学校6年(30名)中学校2年(30名)高校2年(20名)ずつの男・女であるが、児童・生徒は、調査者と直接かかわりあいが無いと

いっても10名ずつのグループインタビューなので卒直に答え、現代っ子の自由なふん困気で語ってくれた。性に関する問題もかなりの点までフランクに話し、発言の中から有意義な資料がえられて幸いであった。

### く 小 学 校 〉

### (2) 印象的な発言内容 (注 T…インタビューー, C1…男子児童, C2…女子児童とする)

#### ① 友だちの状況

小学生は、全員仲のよい友だちはいるし同性の友人が多い状態である。異性の交際は、グループ交際が多かった。(質問紙調査と同傾向)

#### ② 仲よしの友のよい点

T 仲よしの友がいてどんな点がよいことでしょうか。

- C1 自分の間違いを教えてくれる。
- C2 先生に叱られたときいつも元気づけてくれる。
- C2 先生にいけないことも気軽に話せる。
- C1 わからないことは相談相手になる。
- C1 けんかするとき、味方をしてくれる。
- C2 できないことを助けてくれる。(宿題)
- C2 男女交際のことを教えあうし話しあう。
- C1 一緒にいると楽しいし安心する。
- C2 友だちにより悪の道へは行かない。

#### ③ 友だちがいて不安の状態

T 仲よしの友がいて不安のときは、どんなときですか。

- C1 自分と意見の対立したとき。
- C1 友だち同志けんかしたとき。
- C2 友だちへつげ口されたとき。
- C1 文句をいったあと友がどう思うか不安。
- C2 ことわったとききられなかと不安。
- C1 他人と仲よくしているのを見ると不安。
- C2 ひやかされたりすると不安。
- C2 組がえのとき別れることへの不安。
- C1 いわないと約束したが話されたとき。
- C1 友に誘われ遠のりして外出したとき。
- C2 友へ頼り先生の話をかかないとき。

#### ④ 友人の理想像

T 心の中にいだいている仲よしの友とは、どういう人ですか。

- C2 なやみをうちあけられる人。
- C1 いっしょに仕事のできる人。
- C2 親切でやさしい人。
- C1 まちがいを注意してくれる人。
- C2 自己の立場になって考えてくれる人。
- C1 かげひなたなく、かげ口のいわない人。
- C2 感情がたいらで、おこらない人。
- C1 勇気づけはげましてくれる人。

#### ⑤ 仕事の状況

T あなたは、男女一緒にグループでつぎのことをする場合、男と女の仕事の役わりをきめますか。

~~~~~そ う じ~~~~~

大部分は、男女差はない状態だが、教師、班長がリードしあい、分担しあって順番にやる状態が強い。

~~~~~理 科 実 験~~~~~

女は見学するとかメモするとか積極的に実験する態度が少ない。一部には、輪番にやる学習ぶりもあるが、ごく少数に限られる。

~~~~~調 理~~~~~

大部分の女子が調理をするので、女の仕事と思っている。学校の調理実習は、男女こだわらず協力するが、家庭では、男子は買物、膳立てぐらいを手伝う程度で、たまに学校で実習したのを作って賞味させるが、母のるすの場合か、忙しい時期に限られている。(即席ラーメン、目玉やき程度)